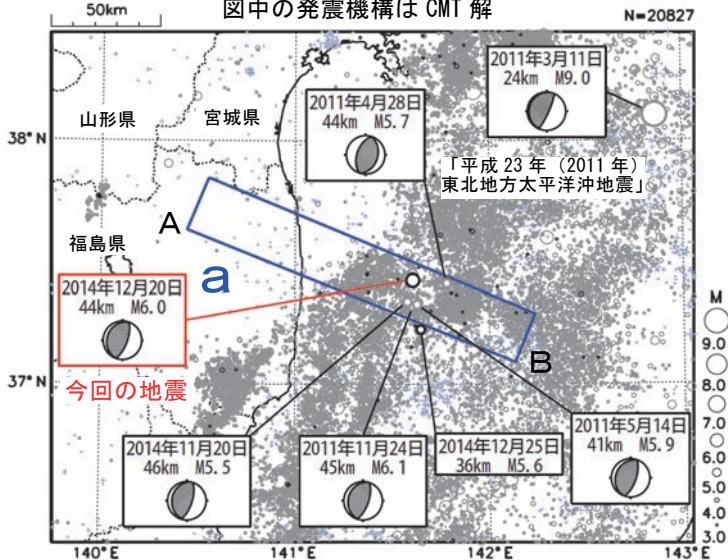


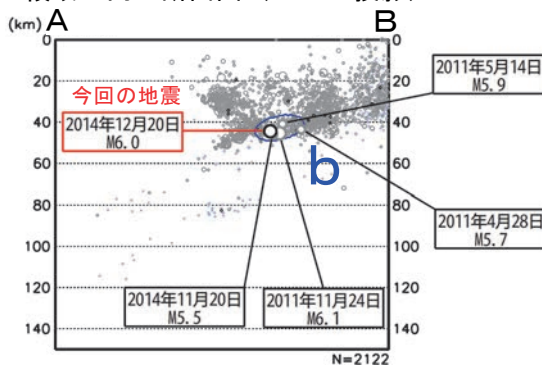
12 月 20 日 福島県沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2014 年 12 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 3.0$)
東北地方太平洋沖地震前に発生した地震を+
東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○
2014 年 12 月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構は CMT 解

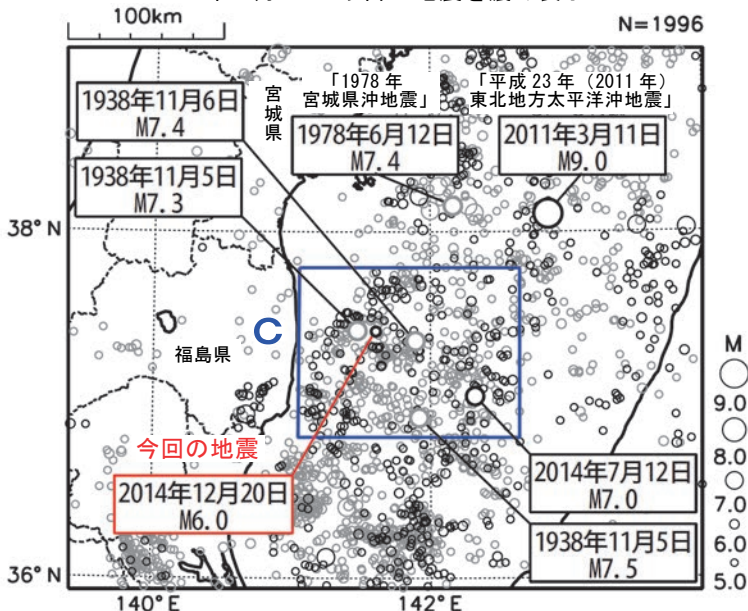


領域 a 内の断面図（A－B 投影）



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)
2011 年 3 月 11 日以降の地震を濃く表示

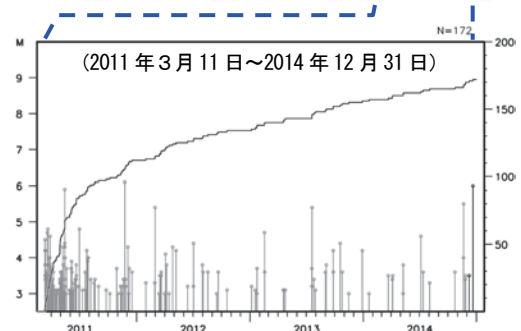
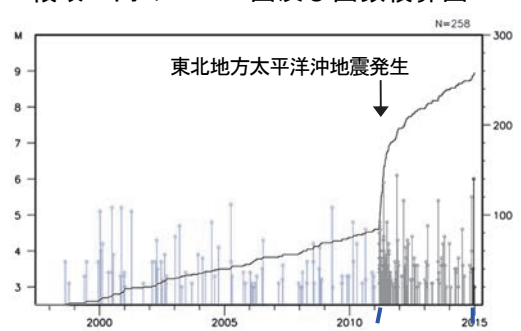


2014 年 12 月 20 日 18 時 29 分に福島県沖の深さ 44km で M6.0 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震は発震機構（CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、M5.0 以上の地震が時々発生しており、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」発生以降は地震活動が活発化したが、その後次第に低下してきている。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 c）では、1938 年 11 月 5 日に M7.5 の地震が発生し、死者 1 人、負傷者 9 人、住家全壊 4 棟、半壊 29 棟などの被害が生じた。また、この地震により、宮城県花淵で 113 cm（全振幅）の津波が観測された（「日本被害地震総覧」による）。この地震の発生以降、広い範囲で M7 程度の地震が数回発生するなど、地震活動が活発になった。

領域 b 内の M－T 図及び回数積算図



領域 c 内の M－T 図

